

IMS(イムス)グループ看護師認知症対応力向上研修

実施要項(平成 29 年度 第 4 回)

1. 目的

認知症患者に対する対応力とケアの質の向上を図るための取り組みや、他職種チームの中で中心的な役割を担うことができる。

※「認知症ケア加算2」の施設基準に対応した研修です。

2. 研修目標

- 1、認知症看護に必要な専門的知識・技術を習得する。
- 2、認知症看護の知識・技術を用い、自施設内で指導・教育的役割を果たすことができる。

3. 募集人員 : 40名

4. 受講対象 : 病院に勤務する看護師

5. 日程 : 平成 30 年 2 月 8 日(木)、2 月 9 日(金)

全 2 日間

6. 修了証

全課程を修了した際、修了証を発行し、最終日(研修 2 日目)に授与いたします。

(※遅刻・早退などがある場合、修了証の発行はいたしかねます。)

7. 参加費用 : 15,000 円(税込)

8. 申込方法

所定の申込書に必要事項を記入の上、申込期間内に郵送または E-mail にてご提出ください。

9. 申込締切

平成 30 年 1 月 6 日(土) 必着

※お申込み多数の場合は、先着順とさせていただきます。

受講の可否については、1 月中旬頃にお知らせいたします。

その際、受講料納入方法についてご案内させていただきます。

10. お申し込み先及び担当窓口

IMSグループ本部事務局 イムス医療従事者生涯教育センター

担当者:八木 綾子

住 所:〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-33-8 NBF 池袋タワー13F

電 話:03-(6912)-5236(直通)

E-mail : e-center@ims.gr.jp

11. 研修会場

イムス横浜国際看護専門学校 5階 501・502 教室

住 所:〒226-0027 神奈川県横浜市緑区長津田 6-20-24

12. 持ち物

【持参品】筆記用具、昼食(各回必ずご持参ください)

13. 会場アクセスマップ



IMS(イムス)グループ看護師認知症対応力向上研修カリキュラム

1日目

時間	講師	内容
9:30 ～ 9:45	鶴川サナトリウム病院 精神保健医師 小松 弘幸 奥村 武則	【導入】 ・現状と課題(研修の背景) ・認知症高齢者の現状
9:45 ～ 10:15		・研修の目的 【認知症に関する知識】 ・認知症とは
10:15 ～ 12:30		・身体面・心理面の特徴 ・環境による影響 【認知症の病態生理・治療】 ・認知症の原因疾患、病態、治療(BPSD、せん妄中心に解説) ・認知症患者の身体管理と一般病院に求められる役割 ・認知症患者の世界観の理解、中核症状の理解、基本的な評価方法 ・せん妄の病態、診断、固定、認知症との識別
昼食 12:30～13:30		
13:30 ～ 16:00	鶴川サナトリウム病院 認知症認定看護師 小原 良之	【認知症看護の基本】 ・認知症ケアの原則 ・コミュニケーション方法と、その留意点 ・認知症の疾患経過の理解と疾患段階を踏まえた看護支援のあり方 ・認知症を疑った場合の初期対応として実践すべき看護、初期集中支援 ・療養環境の調整(病院での環境整備) ・BPSDの予防と、アセスメント・看護ケア ・せん妄の予防と対応 ・身体拘束が認知症の人に与える影響について
16:15 ～ 17:15	鶴川サナトリウム病院 精神保健福祉士 奥津 準	【倫理的問題と意思決定支援】 ・認知症に特有な論理的問題と意思決定支援 ・チームや病棟内での情報共有、部門間での情報共有 ・退院支援での課題 ・連携の在り方、在宅復帰、退院支援、地域支援
17:15 ～ 17:20	事務局	・2日目についての連絡事項

2日目

時間	講師	内容
9:30 ～ 11:45	我孫子ロイヤルケアセンター 千葉県認知症介護指導者養成研 修了看護師 菊地 千佳	【認知症看護マネジメントⅠ】 ・認知症が看護管理に及ぼす影響について ・看護職員の現状 ・看護管理者の役割 ・病棟単位での取り組み ・病棟内、部門間での情報共有、人的配置 ・コンサルテーション体制 ・リスクマネジメントと身体拘束 ・標準的な対応手順・マニュアルの検討と整備 ・施設内での目標設定・研修計画の立て方、教育技法
昼食 11:45～12:45		
12:45 ～ 14:45	葛飾ロイヤルケアセンター 認知症認定看護師 宮沼 裕子	【認知症看護マネジメントⅡ】 ・自施設内でのマネジメント体制の検討 (研修での学びを通して、自施設にて認知症看護を行う上で必要なマネジメントは何か具体的に考えグループディスカッションを通して今後の活動の実際を考える)
15:00 ～ 17:10	イムス佐原リハビリテーション病院 認知症認定看護師 山村 まどか	【認知症看護アセスメント】 ・ペーパーペイシエントを利用した事例検討 (重度認知症の困難事例(BPSD、せん妄の対応など)を提示し、患者に必要なアセスメント情報や、コミュニケーションの回り方、必要な看護計画および具体的なケア、療養環境の調整、医療チームとしての対応などをグループディスカッションを通して考える)
17:10 ～ 17:20	事務局	・連絡事項 ・修了証授与

以上